

## 松島町教育委員会議事録（令和3年9月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和3年9月24日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、瀬野尾千恵委員（教育長職務代理者）鈴木康夫委員、  
安倍七恵委員、佐藤晴子委員
- 4 説明のため出席した者  
赤間隆之教育次長、千葉忠弘教育課長、  
大宮司綾学校教育班長、土井弘通生涯学習班長、石川中央公民館長、熊谷賢学校給食センター所長、  
三品隆教育指導専門員、岸淳一学校教育班主査、
- 5 議 事 日 程
  1. 開会 令和3年9月24日（金曜日）午前9時30分 開会 （録音開始）
  2. 前回委員会の議事録の承認
  3. 議事録の署名委員の指名 安倍委員・佐藤委員
  4. 報告事項
    - (1) 一般事務報告
    - (2) 教育長報告
    - (3) 令和3年第3回松島町議会定例会について
  5. 議事
    - (1) 議案第12号 令和3年度（令和2年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書について
  6. 協議事項
    - (1) 令和3年10月定例会について  
日程案：令和3年10月29日（金）午前10時00分 松島町役場3階 301会議室
  7. その他
  8. 閉会

## 6 議 事 録

### 1. 開会 午前9時30分

〔岸主査〕改めまして、おはようございます。（「おはようございます」の声あり）これから松島町教育委員会会議令和3年9月定例会を開会します。

開会の挨拶を内海教育長よりお願いします。

〔内海教育長〕おはようございます。（「おはようございます」の声あり）2学期、一番長い学期に入りました。それで、幼稚園は今運動会の練習真っ盛りでございます。同じ日に運動会が開催されるので、いろいろ各幼稚園、出し物を工夫しているところです。

それから、小学校においては、学習発表会の準備を進めているところです。私の教育長報告の中にも1件面白い企画がありますので、報告したいなと思います。

中学校においては、前期の期末考査をし、次は新人大会、今度の25、26ですかね、新人大会がございます。子どもたちの活躍が楽しみになります。

それから、全国学力・学習状況調査の結果を今回お示ししたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。以上です。

### 2. 前回委員会の議事録の承認

〔岸主査〕続きまして2番、前回委員会の議事録の承認について、8月定例会の議事録については、送付しております資料のとおり承認ということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

ありがとうございます。それでは、定例会終了後に署名をお願いいたします。

### 3. 議事録の署名委員の指名

〔岸主査〕続きまして、3番、議事録署名委員の指名を行います。

今回は安倍委員と佐藤委員を指名いたします。（「はい」の声あり）よろしく申し上げます。

### 4. 報告事項

#### (1) 一般事務報告について

〔岸主査〕続きまして、4番、報告事項に移ります。

(1) 一般事務報告について、学校教育班からお願いします。

〔大宮司班長〕それでは、資料の1ページになります。

主なものをご紹介します。

8月28日土曜日は松島中学校運動会が無事開催されたところでございます。2学期になりまして行事がいろいろ多くなっております。

小学校は、第五小学校、第二小学校が花山合宿に行っていました。9月5日、日曜日には第五小学校、4年生と5年生の2学年、25名で行っていました。12日、日曜日は第二小学校、5年生、27人が行っていました。第一小学校も同じ日に予定しておりましたが、人数も多いということで、感染症のリスク低減の関係から11月11日から13日の3日間に延期となっております。

続きまして、行事予定のほうに移らせていただきます。ページは2ページになります。

教育長先生のお話にもありましたが、明日あさってで、中学校は新人大会が開催される予定となっております。

そして、10月2日、幼稚園3園とも運動会が予定されています。

それから、10月4日ですけれども、松島中学校が修学旅行に向かいます。当初は関東方面、首都圏を中心に予定しておりましたが、東北方面ということで、岩手、秋田、山形、3県回って戻ってくるという計画に変更しているものでございます。

10月9日、10月16日、各小学校で学習発表会を予定しております。こちらに関しても、来賓等々も限られた中で感染リスク低減を配慮しながら実施ということですので、教育委員の先生方をお招きしたいところですが、代表して教育長先生のご出席で対応したいと思っておりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

10月19日、就学時健康診断で、来春小学校1年生になる子ども83人受検する予定となっております。

以上、簡単ですが、報告を終わらせていただきます。

〔岸主査〕続きまして、学校給食センターからお願いします。

〔熊谷所長〕それでは3ページ目をご覧ください。

学校給食センターの行事報告をさせていただきます。

8月28日から9月24日までの期間は、行事はございませんでした。

続きまして、令和3年9月25日から10月29日までの期間の行事予定について報告させていただきます。

10月19日火曜日、20日水曜日、25日月曜日、27日水曜日は、栄養士による学校訪問を第一、第二、第五小学校の5・6年生を対象に実施する予定となっております。内容としましては、給食の配膳食前温度の測定、給食の配膳が適正な量であるかの確認、加えまして担当の先生から普段の状況やご意見などをお伺いしまして、今後の献立の作成や業務運営に役立てていきます。

また、10月19日火曜日は、先ほどもありましたが、来年度の就学児童の健康診断がありまして、事前に配布しております食物アレルギーの予備調査票の回収と給食に関する相談受付を栄養士と私で行う予定となっております。以上となります。

〔岸主査〕 それでは、学校教育班及び学校給食センターの報告について、ご質問ございますか。

(質疑)

瀬野尾委員

給食センターのほうへ、前にもちょっと質問したんですけども、適切な量の配膳ということ、栄養士さんが指導に行くというお話でしたが、摂取カロリーはある程度基準ありますよね。ですから、それだったらこのくらいの量だよということを示すことは意味があると思うんですが、今、子どもさんによって食べる量に大分個人差があるんですよね。それで、そういう中で、各自が少なめでいいとか、場合によっては自分でこのくらいの量とかいうような取り方もしているところもあるんですけども、同じように配った場合って残飯が多く出てくるんじゃないかなということも気になったりするんですけども、そのあたりの対応ってというのは、どのようにしていますでしょうか。

熊谷所長

配膳に関しましては、先生が手伝ったりもしていますが、これくらいが適正な量ですよというのを確認しています。食べる量については、個人によって差がありますので、食べなかった分は残ってくることにはなるんですけども、残飯に関しましては、毎日栄養士が量を量りまして記録を取ってあるんですけども、個別にちょっと一人一人の量というのまでは、今のところはとっていない状況です。

瀬野尾委員

私自身が分からないところがありまして、たくさん食べたいからって基準の2倍とか食べるお子さんだっているじゃないですか。そうすると、それは逆にカロリーオーバーで健康を害することにもなるだろうし、かといっていろんなところで個に応じたというようなこともありますので、そういうあたりを、いわゆる給食の専任というか、専門というか、栄養士さんたちの研究会などではそういうあたりをどのように考えていらっしゃるのか、一度ちゃんとお尋ねしたいなと思っているものですから、また機会があったら教えていただきたいと思います。

佐藤委員

各学校の行事とか拝見させていただきますと、五小さんでは花山で焼き板とかキャンプファイヤーとか、まさにコロナ禍ではあるんですけども、子どもたちの活動が、人数にもよるところはあるんですけども、確実に子どもたちにとって重要だと思われる活動を組み込んでいただいていることに感謝いたします。

それから、松中さんでは文化発表会、無観客ではあったんですけども、今年はやったということで、生徒さんたちのそういった発表の場というところを確保していただいたことで、生徒同士の感動があって、友達同士の関係も良好な関係になったのではないかなというふうな思いがしております。

また、松中さんのホームページでは、いじめ防止動画コンクール、ユーチューブも貼り付けていらっしゃるの、動画を拝見する機会も増え、生徒さんへの今後の励みにもなるかなと思いますので、こういったちょっと実際の活動にも細やかにしていただいていたたり、それからこういった発信が非常に重要だと思っておりますので、これからもぜひ引き続きお願いしたいと思えます。実際見に行くということができないものですから、そういったところをぜひこれからも充実させていただいてお願いしたいなと要望もしております。以上です。

安倍委員

ホームページ等を見ていまして、子どもたちの笑顔がたくさん見られて、制限もある中で、ちょっと屋外の活動とかで少しずつ動き始めて、先生方もいろんな配慮はあって大変だと思うんですけども、何かそういうのを見るとちょっとほっとするとか、ああよかったなって、何もない1年となって、その中で何かしら見いだせていっているんだなと思って見ていました。幼稚園さんのほうの運動会の練習の場でも、1年生が応援していますみたいな写真を見たときに、小

学校と中学校の連携とか、幼稚園と小学校の連携とか松島町だからできるんだなということで、何かほほ笑ましく見させていただきました。そういうことも、今後コロナの中で、なかなか難しいでしょうけれども、模索しながら少しずつでもやっていただければと思います。松田さんのほうなんですけれども、今回、やはり去年やらなかった行事を今年は開催ということで、開催状況を数日後に、正面から撮った一番いい状態のものを配信していただいて、こういう試みをしてくださったんだと思ったら、今度は文化発表会も、保護者の方、こういうことをやりましたということで、保護者経由なんですけれども、外部には漏れないようにということなんですけれども、そういう形で、学校が保護者とつながろうとしてくれているというか、なかなか保護者のほうが行くとか学校側を訪問をするとかということが今できない中、そういう発信力ですけれども、してくださっているの、すごくコロナは嫌なんですけれども、その中で発見できた取組だと思えるので、今後もコロナ禍というよりは、そういうことも生かしつつ、今後につなげていってくださればいいなと思いました。以上です。

瀬野尾委員 質問させてください。10月27日予定されている塩竈地区教育支援委員会というのは、どういうことをするんですか。

大宮司班長 特別支援学級に入るお子様の進級・進学先を2市3町の校長と、あと特別支援の各先生方の代表が集まりまして、お一人お一人の診断結果や状態を話し合っ、て、就学先をそれぞれ判定していく会議になります。松島町のお子さんだけではなく、他市町村のお子様のお一人お一人のデータを見て判断していくという委員会なので、1日がかりで判定することになっております。

〔岸主査〕 それでは報告を続けさせていただきます。生涯学習班からお願いします。

〔土井班長〕 それでは生涯学習班の行事報告並びに行事予定のほうを説明させていただきます。資料4ページをご覧ください。

初めに、行事報告から説明させていただきます。

9月1日に松島町指定有形文化財の指定ということで、前回の定例会で承認いただきました、円通院御霊屋の三慧殿の扁額の指定のほうを9月1日付で行いまして、認定証の伝達につきましては、9月9日に教育長室で円通院さんにお渡しをさせていただいたところでございます。

9月2日でございます。こちらは松島まるごと学の座禅体験及び歴史巡りということで、当初は島巡りということで予定していたところなんですけれども、コロナの状況を鑑みまして島巡りを延期して、歴史文化に触れるということで、雄島の見学ということで、今回学習しております。なお、こちらにつきましては、雄島の説明を今年からなんですけれども、松島ボランティアガイドさんにご協力をいただいて説明をしていただいているところでございます。

続きまして、15日につきましては、森林学習ということで、こちらは五小の5年生に実施しております。森林学習のほうは1学期に一小さん、二小さんで行っておりまして、今回で全て完了というような形になっております。

続いて、行事予定に移らせていただきます。

9月28日、30日、10月12日は、松島まるごと学の品井沼干拓学習ということで、一小及び五小の4年生を対象に実施するところでございます。一小につきましては人数が多いということもありまして、28日、30日に1組ずつ分けて実施するような形で予定してございます。

続いて29日、宮城県の巡回小劇場ということで、こちらは宮城県の事業で、音楽鑑賞イベントを設定しておりまして、演題につきましては「ブラック ボトム プラス バンド」というバンドをお呼びして、町内全ての小学校の4年生、5年生、165名を対象に実施するところでございます。小学校3校を集めるということもございまして、コロナ禍を踏まえ、座席のほうを学校ごとにまとめて、できるだけそういった十分な対策を練った上での実施を予定しているところでございます。

10月中旬でございます。第2回目の社会教育委員の会議を予定しているところでございます。

10月21日につきましては、まるごと学の歴史めぐりと座禅体験ということで、こちら五小の6年生です。そして、29日は同じく四大観巡りと座禅体験ということで、五小の6年生を対象にやらさせていただきます。なお、座禅体験につきましては、一小さんのほうは瑞巖寺さんでやりましたけれども、二小さん、五小さんにつきましては、富山の伏見寺のほうで実施を予定しているところであります。以上でございます。

〔岸主査〕 続きまして、中央公民館からお願いします。

〔石川館長〕 それでは、資料の5ページをお開きいただきたいと思います。

中央公民館の行事報告、予定、主なもののみご説明させていただきます。

行事報告欄をご覧ください。

9月10日になります。健康体操教室を文化観光交流館の和室で開催をいたしました。コロナ禍での運動不足解消を目的に企画した事業でありまして、7名の参加がございました。緊急事態宣言中ではありましたが、スクリーンに投射し、距離を測りながら分かりやすく解説するなどの工夫を行い、また換気や手指消毒等の感染症対策を十分に行いながら開催することができました。

9月18日土曜日、荒天ではありましたが、第24回長松園まつりを開催いたしました。昨年に引き続き関係者のみの最小限の人数で開催をしております。

行事予定の欄をご覧ください。

9月30日木曜日、社会教育拠点施設訪問として、仙台教育事務所の生涯学習担当が来町し、コロナ禍での教室、講座等の取組状況の情報交換を行うことを予定しております。

また、同日夜、分館長会議を開催いたします。各分館の事業の実施状況等について情報交換等を行う予定としております。

中央公民館の主な行事報告、行事予定につきましては、以上のとおりでございます。

〔岸主査〕 それでは、生涯学習班及び中央公民館等の報告について、ご質問ございませんか。

(質疑)

瀬野尾委員

質問というよりも実施したことについての感想になるんですけども、9月2日に松島まるごと学で、座禅体験及び歴史巡りということで、雄島での案内を多分初めてボランティアの方をお願いしたんじゃないかなと思うんですが、非常にこのことは地域、町のボランティア、町をこれからどう活性化していくかという活動している人たちにとっては、小学生に話してやれたということは非常に大きな喜びになっていました。そして、そのボランティアで説明した方々が子どもたちのすばらしさを非常に話してしまっていて、聞いている私もうれしかったんですけども、今までは、説明を受けるときに書きながら、書くことに夢中になってしまう、あれどうかならないものだろうかと思っていましたら、今回はちゃんとメモはしまいなさいと。ちゃんと話をしっかり聞いて、聞いたことをすぐ帰ってからグループで私はこういうのを聞いたってそれぞれが出し合って、それを記録したという手法を取ったようで、これもやはりすばらしいなど。ボランティアの方々は、子どもたちがとにかく話を聞いてくれたと。以前、高校生にガイドをやったときに、年齢的な違いもありますけれども、全然聞かなくて、説明の仕方もちよっと勉強しないといけないうねって反省にはなったんですが、小学生のその聞く態度、そして先生の配慮も、すばらしかったと感じたようで、これが、こういう活動を通して地域の方々に今の学校の状況が見えていくというのは、とてもいいやり方だなど思いましたので、もし課題があったら遠慮なく言っていただいて、できるだけ使う方向で継続していただければいいかなと感じました。以上です。

安倍委員

10月21日、29日、どちらもこれ五小さんになっているんですが。

土井班長

間違いです。10月21日のほうが二小さんになります。大変失礼いたしました。

内海教育長

じゃ、すみません、10月21日、第二小学校の6年生ということで、訂正をお願いします。

## (2) 教育長報告

〔岸主査〕 続きまして、(2) 教育長報告に移ります。内海教育長、お願いします。

〔内海教育長〕 私の方から、冒頭の挨拶のほうでお話しさせていただきました全国学力・学習状況調査の結果が9月の頭に出ました。それで、点数というか具体的な数字はここでは控えさせていただきますけれども、小学校の国語は、全国、宮城県を大きく上回っております。大きくです。本当に大きくて驚いております。小学校の算数も大きく上回っております。全国も宮城県も大きく上回っています。具体的に言いますと、小学校の国語は、全国の県の第5位、県別でいう第5位にランキングするくらいの点数を取っております。それから、算数については、県別の平均正答率の11位以内に入っている。47都道府県の中では相当な高いレベルを維持できたということになります。

学校別で言いますと、第一小学校がどちらかといえば国語の学校に入ります。第二小学校は算数が強い学校になります。第五小学校は国語も算数もトータルで強い学校ということになりました。

ただ、残念なことに、課題としては中学校です。全国も宮城県も大きく下回っております。国語も数学も下回っております。ここが次年度以降、大きな課題になると思います。10月1日に改善策を示します。10月1日ということは、残り5か月の間にどうしたらいいかということで、コンパクトにまとめたものを報告書に出していくつもりです。その中には保護者だけには生の点数をお示ししたいなと思っております。

中学校については、根本的に授業改善が必要なのではないかなということで、校長会、この前あったときにお話しさせていただきました。どうしても今年の子どもはという理由で逃げるような形になってはいけないのではないかと。子ども側の質を問うのではなくて先生方の授業の在り方を十分に込めて改善策を示して保護者の方々に納得していただくと。場合によっては、定着が足りないのであれば、家庭学習の充実をさらに進めていくとかというような具体的な提案をしてくださいというような話をしてきました。

2つ目は、資料9ページをご覧ください。

「子ども大漁唄い込み」ということで、これは瀬野尾先生が先ほど褒めていただいた雄島のボランティアと似た感じなんですけれども、地域の人材を活用しながら子ども大漁唄い込みを子どもたちに教えていって、それがひいては全部の小中学校、場合によっては幼稚園まで行って一大イベントになればいいなと思っております。大漁唄い込みについては、その文化の継承というのは観光振興計画というところに明記されていて、私が教育長になったときからぜひこれをやってくれと言われていて、4年の間ずっと考えていたんですが、いろんな事情があってこの大漁唄い込みがなかなか形として表れなかったんですが、今回松島町芸術文化協会の協力のもと、子ども大漁唄い込みをオリジナルにして、これを普及するということです。その第一弾として、松島第五小学校、ちょっと4年生となっているんですが、実は4年が菱取り踊りをやるというので3年生に移りましたけれども、3年生が10月9日学習発表会で発表を行う。師匠という方から担任へ伝授して、担任から児童に伝授し、師匠から発表2、3日前に微調整してもらって本番を迎えるということにしております。9月の月曜日、第1回目の練習会が始まります。教育委員会からは学校教育班長が参加しながら、この担任だけじゃなくて4、5名の先生がマスターして、そこから各小中学校に流れていくという形にしていくということになります。私もいろんな方々から大漁唄い込みの復活ということを言われてきたので、何かやると明るい兆しが見えてきたなど。実は私が小さい頃は、学習発表会で踊っていたんです。それがいつしか消えてしまったということで、必ずしも学習発表会でなくて、小さなイベント、大きなイベントの中で、こういうのが簡単に踊ればいいし、これから子どもたちが大きくなって松島を出ていく可能性があります。私も松島を出たときに、お前松島かと。じゃ、大漁唄い込み歌ってみろとか、踊ってみろとか、そういうことよく言われるんですよ。ところが歌えないし、踊れない。そうじゃなくて、まるごと学で学び、大漁唄い込み踊れる、歌える、みたいな子どもたちが他県に出ていったときに、さらに松島が、自分の町が誇りある町になるのではないかと期待をしながら今回スタートしていきたいと思っております。

2つお話しさせていただきました。以上です。

〔岸主査〕それではただいまの教育長報告についてご質問等ございますか。

(質疑)

佐藤委員

まず、全国学力・学習状況調査なんですけれども、教育は数値では計れないといっても、実際こういう数値で出たものについては、実際の資料として重要なものだというふうに思っております。特に全国学力・学習状況調査は、年に1回、たった1回だけ6年生と中3の子どもたちに、全国津々浦々が同じ問題に取り組むという唯一のものなんですね。その中で、やはり大きく上回ったというところは、確実に子どもたちに力、学力といったところがついていくというふうに感じます。このためには、先生方の日々の授業、学校の中で一番重要視、割合を占めている授業のやはり充実ということと、もう一つ、先ほど教育長先生おっしゃったように、家庭学習というのが非常に重要だと思っております。県のほうでは学年掛ける10分を一つ目安としておりますので、そのあたりも各小中学校では押さえてアクションを起こされていることとは思いますが、やはり授業の大切さとあと家庭学習の大切さというところをいま一度心にとめていただいで、改善策を今度ペーパーでお渡しするという事なんですけれども、より具体策といえますか、そういったところをお示ししていただきますと、保護者の皆様も、学校としてこういうふうにご考えているので、家庭としてこういうふうにごやっというふうな道筋といえますか、イメージがつかめるかと思っておりますので、引き続き、ぜひこれを誇りにしていただきながら、また今後につなげていただければと思います。

それから、大漁唄い込みなんですけれども、私も前段部分あたりはちょっと歌えるんですが、やはり松島の松島を愛する子どもたちの育成にもつながるかな。ちょっと歌ってみて、ちょっと踊ってみてというのが、松島出身の子どもたちがみんなやはりそうできるということがとても素晴らしいことだと思いますので、地域文化の継承と松島を愛する子どもたちの育成につながるかと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。以上です。

瀬野尾委員

学力状況調査については、やはり日々の学習の成果の一つとして評価していきたいなと思っておりますので、これからもぜひ維持していけるような努力が必要かなと思っております。ただ、中学校

は、これから努力目標としていろいろやっていくというお話ではあるんですが、やっぱりちょっとね、日頃様子を、一部分からしか聞けないんですが、授業がちよっと。3年生の授業で、2年生の教科書をコピーして配ってやり直したり、結局実力テストに出てくる範囲が、学力調査ではなくて、宮模試とかいろいろ実力テストとか、そこに出ている内容が、あ、教えてなかったと思うのか、コピーして学習、学年を下ろして学習したりというのを聞いたりしますと、やっぱりその年に押さえるべきことがちゃんとされていなかったんじゃないのかなとか、コロナ禍ということもあったかもしれないんですが。そして、それをやっていると、まだこんなところなのみたいな、結局遅れちゃうんですね。だから、塾へ行っていない子なんかどうしているのかなとか、人ごとながら気になったりしている状況もあるんですね。ですから、先ほど授業改善が必要って、まさにそこは大きな課題だろうなと思いますので、せっかく小学校の学力が上がってるなら、それを受けて中学校もしっかりやっていただければなと思っております。

あと、これ、町としてみんなが、エイサーとか、ソーランとか、ほかのことなんか全国的にやっているけれども、地元にあるじゃないかってずっと思いがありまして、余談になるんですが、昔やはり会社へ入ったときに、私じゃなく、松島出身の人がいたら、みんなに、新人歓迎会で、ほら、松島なら大漁斎太郎節とか、大漁唄い込みとか、それを歌えて確かに言われているんですよ。だから、ああ教育長さんおっしゃったとおりだなと。それをみんなが引き継ぐと。とてもいい取組だなと思いますので、ぜひ波及させていただければと思います。以上です。

安倍委員

この学力調査なんですが、自分の子どもが該当するとき親ならばどきどきしながら開封するんですが、小学校が国語、算数ともに大きく上回るというのは、やはり蓄積されてきたものが実を結んだのかなと思うので、先ほどの話ではないですけども、この花が枯れてしまわないように、より大きく咲くように、何とか引継ぎ等ないし、中学校のほうも、もう早くから改善を見つけれられるように家庭にも周知する形だと思います。家庭学習調査とちよっとずれるかもしれないですけども、やはり中学生には受験というものが控えていて、じゃ勉強一生懸命し出してもすぐすぐ結果が出るわけではなくて、それで気持ちが折れてしまう子も正直いたりするんです。大体3か月、4か月、結果が出てくるまで思うようにならなくても頑張るんだよというような声がけをしていた過去の過去があるんですけども、そう思うとやっぱり2年生ぐらいのときが一番いろんなことを考えられる時期なんじゃないのかなと思うんですよ。親も子もいろいろ調べることが出来るし、勉強もこれからどうやっていこうって、中だるみしたってまだ頑張れるし、まだ1年生の分を取り戻せるってどんな状況でも対応できると思うんです。なので、確かに3年生ってこういう結果かもしれないですけども、本当は、2年生のこの夏休みってすごく大事だったんじゃないのかなと思って、ちよっとそういう発信力が松中さん、欠けていたような気がして、そういうのにちよっと力を入れていく、早いじゃん、もっとゆっくりでもいいじゃんと思われるかもしれないんですけども、そういうところから3年生で実力テストを受ける時期に向かって走っていけるんじゃないのかなと思うので、そういうのもちらつかせながらというのも一つだと感じています。以上です。

鈴木委員

学力・学習状況調査で、中学校、これ改善策示したペーパー、これは、誰が作成するんですか。改善策は学校で作成します。先生方が協議して、どこがよくてどこが悪かったのかっていうことで。

鈴木委員

小学校は大変よかったんですけども、今年はよかった。でも一昨年は、来年はと一喜一憂するっていうんでなくて、例えば秋田県なら、にかほ市とか、あそこはすごいなと、そういう、何ていうのかな、松島の小中学校の学力はいつも高いという伝統をつくるような戦略というか、今年が改善して、そしてこれ教育行政点検でも学力・学習状況調査のところは、分析はすると。対策と実態、これを持続していく戦略はやっぱりそこは一つ何か足りないのかな。もう少し高いところとか、一つ目標とか、これを数値目標にするのも変ですけども、何かないかなと、ちよっと感想なんですけれども、これは我々の責任でもあるのかなというふうに思いました。

内海教育長

私が教育長になってから、ずっと授業の在り方についてはこだわってきて、ある程度授業改善のプログラムというのはお示ししています。それは不変なもので、それをやっていただくように4年間ずっと言い続けてきました。新しい何か教育、例えばいろんなのあるんですね。水道方式とか、何方式とか、かに方式とかいうのがあるんですけども、それでも構わないんだけど、きちんと課題書いて子どもたちが、授業が一目瞭然で分かる。そして、保護者の方々が入ってき

でも、今何の授業をやっているのかよく分かるように、黒板に「遣唐使」って書いてあと45分しゃべるといふのじゃなくてって口を酸っぱく言ってやっとここに来ているのかなとちらっと思うんですけども、鈴木先生おっしゃるように、皆さんおっしゃるように、じゃこれ来年どうなるのかという話ですよね。私は、鈴木先生おっしゃると同じようなことを先生方に投げかけている。じゃ、秋田はなぜ毎年トップクラスなのかと。秋田ができて松島はできないんですかという話ですよね。そうすると、松島と秋田の何回か交流させて見ていると、ある程度こういうふうにはやっていけばいいなというのは私の中で頭には描いてはきています。その一環として、いろいろ、例えば英語の特区も取ろうと。その特区を取る前に指定を受けようと。そういうのを少しずつ考えてきました。こういう資料を出せば次の年比較されますので、次の人たちにしっかりしたものを何かやっていかなきゃなんないと。だからこそ、家庭学習に目をつけたり、作文指導というの必要だろうなと思っています。それから、読書。ここら辺のところを不変なものにすると。普通の授業をしっかりしたものにして、その授業をしないと、何であなたは教員になったのですかと言われるような、教員放棄のような、不変の部分を除かない授業、板書を丁寧に書いて、計画的に板書をするとか、ノートをしっかり取らせるとか、発音、指示、説明を明確にしていくとか、そういうようなものをこれからも、ちょっとこういうプログラムがありますので、それをしっかりやっていきたいなと。ですので、いずれこういう委員会の場でお示ししたいと思いますので、そのときはまたよろしくご意見お願いします。以上です。

鈴木委員 子どもたちの勉強する意欲というかモチベーションを持つというのが一番基本的、我々はそういう、まずその場をつくる、そういう場をつくるというのが極めて大事だと。

内海教育長 先生が危惧している部分は、もう私もずっと考えて、面白くない授業ではモチベーションも上がらないだろうし、やっぱり子どもの学力が上がっていくのは、先生のやる気と子どものモチベーションがリンクしたときに一歩進んでいくんだと思いますので、さっきちょっと極端な例を出したんだけど、黒板に「遣唐使」って書いて45分しゃべりまくる授業というのは、果たして伸びるのかなと。写真を使い、映像を使い、そしてみんなで考え合うとか、一問一答じゃなくというような授業形態をこれからもしっかりつくっていききたいなと思っています。そして、これが定着できるような、鈴木先生がおっしゃられるような、松島、結構学力高いんですよねという感じになればね。これは、ひいては町長が移住促進を掲げているので、学力の高い松島に行ってみたい、特区がある学校に行ってみたいと言われれば本望なんでしょうけども、そこまでは到底まだまだハードルは高いんです。そんな感じで、今やっているところです。以上です。

瀬野尾委員 学力状況調査って4月にするんですよね。それで、普通は国から戻ってくるのはこの時期なんですけれども、学校の中で先生方がもう即採点しまして、一人一人を分析するんですって。そうすると、課題が見えてくるんです。例えば、個によっては図形が弱いとか、それから、いや国語の書くところが弱いとか、今頃改善策をつくっても、ないよりはいいんですが、残り何か月、3か月か4か月なんですかね。でも、4月に校内でやっていけば、自分の持っているクラスの課題が見えるんです。そうすると、小学校なら担任。小学校は、やっているんですよね。五小さんなんかも、よく採点して即結果を出していましたよ。でも、中学校、きっとそれやっていないと思うんです。教科担任制というものもあるので、やはり早い段階に子どもはどこが弱くて、どこが、去年の学習までの弱かったところが見えてくれば、教師も努力点が早くつかめるので、この分析を小学校だけではなく中学校も即やっていけば、少しは早く対策を取れるかなと。その繰り返しを毎年していけば、少しはよくなるかなって思ったりしています。

### (3) 令和3年度第3回松島町議会定例会について

〔岸主査〕ありがとうございます。報告を続けます。(3) 令和3年度第3回松島町議会定例会について教育課長より説明いたします。

〔千葉課長〕それでは、9月定例会についてご報告申し上げます。

まず、教育委員会関係補正予算についてでございますが、先月の教育委員会議でご説明いたしました小・中・幼稚園に係るコロナ感染症対策に係る消耗品費が対象でございましたが、こちらは承認をいただいております。

同じく令和2年度決算につきましても、同様に承認をいただいております。

次に、一般質問についてでございますが、資料12ページをご覧ください。

教育委員会関連では、学校給食の無償化についてという質問がありました。こちらの回答の要点についてご報



告申し上げます。

1番のどの子ども差別なく学校で食べられることについてどのように思うかという点についてでございますが、学校給食は食育の推進や栄養バランスのよい食事の摂取など、成長期にある子どもにとっては大切なものと考えている。また、家庭環境などに左右されることなく、同じものをクラスメートみんなで摂取することから、教育的観点からも有意義である旨の回答をしております。

次に、「教育的にも有用だから」あるいは「少子化や定住対策」として無償化を実施している自治体の努力についてどのように思うかという点についてでございますが、給食の無償化が少子化対策の一助になり得るのかは、十分な検証と慎重な判断が必要である旨の回答をしております。

最後に、学校給食の無償化に踏み出していく考えはないかという点についてでございますが、給食の無償化は一度実施すれば将来にわたり継続しなければならない施策であり、極めて慎重に決めていかななくてはならない。国の方針として給食の無償化が認められ、財政支援がなければ、本町においては実施することが難しい旨の回答をしております。

以上で報告を終わります。

〔岸主査〕それではただいまの松島町議会定例会についてご質問ございますか。

なければ、続けさせていただきます。

## 5. 議事

〔岸主査〕それでは続いて、5番、議事に移ります。議事は、内海教育長、進行の下行います。よろしくお願いたします。

(1) 議案第12号 令和3年度(令和2年度対象)松島町教育委員会教育行政点検評価報告書について

〔内海教育長〕議案第12号 令和3年度(令和2年度対象)松島町教育委員会教育行政点検評価報告書について、事務局から提案理由を求めます。

〔赤間次長〕議案第12号 令和3年度松島町教育委員会教育行政点検評価報告書について。このことについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、別紙のとおり提出する。令和3年9月24日提出。松島町教育長名でございます。

続けて担当のほうから説明いたします。

〔岸主査〕それでは説明させていただきます。

点検評価報告書につきましては、前回の定例会でお示ししておりましたが、その後、委員の皆様から指摘していただいた箇所について修正しております。その上で、学識経験者からの意見として、佐藤実さんに意見をいただいております。こちらを35ページ以降に記載させていただいております。これによりまして、お手元の資料のとおり、報告書が出来上がりましたので、ご審議していただくようお願いいたします。

なお、37ページをお開き願います。

37ページ、1行目の改行位置、それから下から5行目の2文字目のところにスペースがあるんですけども、こちらのほうは修正させていただきます。

説明は以上になります。よろしくお願いたします。

〔内海教育長〕改行の位置とスペースについては後で修正ということになりますが、質疑に入ります。質疑ございませんか。一度見てもらっているということはあるんですけども。

(質疑)

鈴木委員 ケアレスミスが1つ、2つあったので、大したことではないですが。

内海教育長 ケアレスミスがあるということですが、そこはあと確認して修正するというので。

〔内海教育長〕それでは質疑なしと認めます。質疑を終わります。

それでは、議案第12号 令和3年度松島町教育委員会教育行政点検評価の報告について、本案に賛成の委員は挙手をお願いいたします。(挙手全員)

ありがとうございます。採決の結果、行政点検評価報告については全員賛成で可決されました。ありがとうございます。

## 6. 協議事項

(1) 令和3年10月定例会について

日程案：令和3年10月29日(金)午前10時00分 松島町役場3階 301会議室

〔岸主査〕ありがとうございます。続きまして、協議事項に移ります。

令和3年10月定例会につきまして、日程案としまして10月29日金曜日午前10時から役場301会議室を予定しております。この日程でよろしいでしょうか。ありがとうございます。それではよろしく願いいたします。

#### 7. その他

#### 8. 閉会

〔岸主査〕 それでは、全体を通して、ご質問等ございますか。

なければ、これで教育委員会令和3年9月定例会を閉会いたします。

閉会の挨拶を瀬野尾教育長職務代理者をお願いいたします。

〔瀬野尾委員〕 お疲れさまでした。今日は、学力面でも向上している話とか、また新たなわくわくする取組などのお話がありまして、これからの松島の教育に期待できるなという兆候を感じました。いろいろとご審議ありがとうございます。これで終了といたします。お疲れ様でした。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 岸 淳一

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和3年10月29日

委 員

委 員